

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/統一協会問題 ■ 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4・5面 豪雨災害に備えるために/ジェンダーリレー講座/気候正義って/ホットライン ■ 6面 おかゆ/母の歴史 ■ 7面 新婦人のページ/主張/校則



名古屋市 前原のり子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



高齢のゴリラ (ゴリラの写真は山極さん提供)

人間に長い老年期があるわけ ゴリラから学ぶ



総合地球環境学研究所 所長

山極 壽一さん

やまぎわしじゅいち 1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒業。理学博士。京都大学大学院理学研究科教授を経て、2020年まで京都大学総長。アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。現在、総合地球環境学研究所所長。著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』(2020年、家の光協会) など多数。

高齢化がすすむ日本、社会のなかで元気に活躍する高齢者も増えていきます。霊長類学者でゴリラ研究第一人者の山極壽一さんは、高齢者の役割が社会に必要と発信しています。第35回日本高齢者大会in京都(2022年11月23・24日)の記念講演より一部抜粋・編集して紹介します。

ゴリラにちなんで 人間社会を見る

私が40年以上研究してきたゴリラにちなんで、人間社会を見つめてみると、ゴリラの社会は高齢者を尊ぶ社会です。ゴリラやチンパンジー

安全なところに住み、毎日食べ物を探し歩いて数百メートル、毎晩違う場所から数十キロ移動して、毎晩違う場所です。生後1年間は母親と一緒に行動するから手のぎる力がとても強いです。またいつもお母さんの腕の中にいるから、とても静かです。泣きません。

対して人間の赤ちゃんは生まれた時の体重が3キロを超えてもありません。そしてよく泣き、笑います。大きな体で生まれるということは、成長して生まれてくるのかと思えるけど、自力でお母さんにつかまれないほど弱いんです。そして成長も遅い。にもかかわらず、1、2年で離乳する。人間は草原へと足をふみだして、危険な肉食獣に襲われるようになった。だからたくさん子どもを産まないといけなくなり、授乳期間を短くし、排卵の回復を早め、出産間隔を縮めたのです。

3倍の大きさになります。人間の子どもはまず脳の成長にエネルギーを注ぎ、体の成長を後回しにするよう進化したので、そのため体脂肪を類人猿の5倍も蓄えて生まれ、脳に優先してエネルギーを送り続けます。12歳から16歳で脳の成長がストップすると、エネルギーをぐんと身体の成長へ回すことができるようになります。身体の成長速度がアップする。

この、脳の成長に身体の成長が追い付く時期は危険なんです。繁殖力を急速に身につける時期であり、学習・社会的能力を身につける時期でもあります。精神的に病んだり、事故にあってたり、大人とのトラブルが多いのがこの時期です。

このように、人間の子

〈2面へ〉

人の脳はゴリラの 3倍に成長する

人間の成長期間が長くなったのは、脳の増大と関連があります。生まれた時の脳の大きさは、ゴリラと人間はそんなに変わりません。でも、最終的に人間の脳はゴリラの

どもは、離乳後の長い成長期間と青年期という大変危険な時期がある。これを親だけではカバーできないので、たくさんのお母さんの手が必要になった。これがわれわれが、共同保育をあたりまえのようにしてきた理由なんです。

そして、なぜ人類には長い老年期があるのか。人間の女性の閉経は、類人猿に比べて早いです。67歳のチンパンジーが動物園で子どもを自然出産した例があります。動物は、死ぬまで出産し続けるのが普通なんです。なぜそうだったか。人間は立って2足で歩き始めてから、骨盤の形が2足歩行に都合のいいように変わりました。

3倍の大きさになります。人間の子どもはまず脳の成長にエネルギーを注ぎ、体の成長を後回しにするよう進化したので、そのため体脂肪を類人猿の5倍も蓄えて生まれ、脳に優先してエネルギーを送り続けます。12歳から16歳で脳の成長がストップすると、エネルギーをぐんと身体の成長へ回すことができるようになります。身体の成長速度がアップする。

この、脳の成長に身体の成長が追い付く時期は危険なんです。繁殖力を急速に身につける時期であり、学習・社会的能力を身につける時期でもあります。精神的に病んだり、事故にあってたり、大人とのトラブルが多いのがこの時期です。

大軍拡NO! (4面へ)



1月3日、観光地で21人が元気にアピール (群馬・吾妻支部)

